

<第17回みのたに・ちびっ子リーグ実施概要>

- ・ 参加金は1チーム2,000円を説明会時に徴収します。
(事務局連絡運営諸経費、賞状作成、メダル作成、通信郵送費に使用します)
 - ・ 開会式：8月11日(金・祝)10時～
惣山暫定グラウンドで行う予定です。←後日HPのちびっこリーグ掲示板でお知らせします。
 - ・ 各所属リーグの試合を優先するので、土曜日開催もあります。
 - ・ 各チームグラウンド提供は、少なくとも1ヶ月1回以上をお願いします。(半日でも可)
上級生の練習・試合の合間のお昼休み帯の時間を利用するなど工夫をお願いします。
 - ・ 1ブロック6～7チームを原則とします。
 - ・ リーグ戦は勝者勝ち点2、引き分け勝ち点1、敗者勝ち点0とする。
 - ・ ブロック内の順位は勝ち点の多い順。ただし勝ち点が同点の場合は、
① 勝ち数、②直接対決の勝者、③全試合の総失点の少ない順で順位決定する。
 - ・ 各ブロックの1位(6～7チーム)およびワイルドカード進出(2～3チーム)の8チームで決勝トーナメント(クライマックスシリーズ)を実施します。
- ※ワイルドカード進出チームの決定は、①各ブロックの2位チームを対象に、②平均失点数(総失点数/試合数
※小数点第3位を四捨五入)の少ない順で2～3チーム選出。③平均失点数が同点の場合は、次に勝ち数、その次に勝ち点、その次に消化率(先に試合が終了したチーム)、その次に平均得点の順で決定します。
- ※ブロック間で試合数が異なる場合は、③については試合数で除するものとする。
- ・ クライマックスシリーズの優勝・準優勝に賞状及びメダルを贈呈します。

<みのたに・ちびっ子リーグ（交流練習試合）・試合ルール>

- ・ 決して勝敗にはこだわらず、練習試合と考えてください。（別途注意事項配布）
- ・ イニングは5回、試合時間は60分とする。なお60分を超えて新しいイニングには入らない。延長戦はなし。（ただし、クライマックスシリーズについては特別延長を行う。）
- ・ 特別延長戦（無死満塁方式） 継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者、2.3塁走者を順次前の打者として満塁状態にして1イニング行い得点の多いチームの勝ちとする。1イニングで勝敗のつかない場合はさらに継続打順でこれを繰り返す。
- ・ 投手-本塁間は14mとし、塁間は21mとする。両翼は特に規定しない。
- ・ グランドのローカルルールに従う。
- ・ 60分経過時点で裏の攻撃チームがリードの場合は終了させる。
- ・ 試合前のシートノックは5分。（後攻が先）
- ・ 1イニング3アウトまたは5得点で攻守交替。（ただし5点目が入った時点でプレーが続いている場合は、そのプレーの終了時までプレーを流す：最大8得点）
- ・ ボークは取らない。（その時点でプレーをとめて指導する）
- ・ インフィールドフライ、サインプレーによるホームスチール（パスボールはあり）、隠し球はなし。
- ・ 練習球は初回5球、2回以降3球とする。（交代投手は5球）
- ・ バッテリー同士の交代は可能。
- ・ 審判への抗議はしない。ただし審判も未経験者が多いと考えられるので明らかに誤審であれば両チームと審判団の協議の上、判定を変えてもよい。
- ・ 試合経験の少ない若干名の4年生（2-3名程度）を出場させてもよいが事前に相手チームに了解を取ること。その場合、ポジションは投手、捕手でないことが望ましい。なお、3年生以下が少ないチームは4年生を多く出場しての参加を認めております。事前の承認の際にご協力よろしくお願いします。
- ・ 得点差によるコールドゲームはなし。
- ・ 降雨、降雪、日没による場合は3回終了時点で試合成立とする。
- ・ 複雑なプレーがあった場合は試合を止めて指導してもよい。（試合時間は止めない）
- ・ 相手を誹謗するヤジ・応援歌は禁止。
「あるぞ、あるぞ!」「やるぞ、やるぞ!」「ほらやった」など、敵失を期待するコトバは禁止。
- ・ また、指導者が熱くなりすぎて、品位の無いコトバを発することは控えてください。
各チームにそれぞれの指導の主義があろうかと思いますが、品位を持って臨んでください。

[投球制限]

- ① 1試合3イニング以下、もしくは50球以内
- ② 試合中規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
- ③ ボークに関わらず投球したものは投球数に数える。
- ④ タイブレイクになった場合、規定投球数以内で投球できる。
- ⑤ 牽制球や送球とみなされるものは投球数としない。
- ⑥ 投球数の管理は本部が行い、イニング終了時に投球数を本部がアナウンスする。
- ⑦ 本部の投球数に意義がある場合、監督のみ異議申し立てができる。本部と両チームのスコアを確認し、2者が同じ投球数を採用する。3者すべての投球数が合わない場合、本部の投球数を採用する。

<みのたに・ちびっ子リーグ運営規定>

- ・ 当日グラウンド提供チームはグラウンド設営、ベース、審判道具、タイマーの用意をお願いします。
- ・ 当日の本部運営はグラウンド提供チームが行って下さい。
- ・ 試合球は各チーム2球。新球でなくてもよい。但し、ナイガイまたはマルエスとする。
(ケンコーボールが混ざると、子供が困惑するため)
- ・ ベンチは若番が一塁側とする。
- ・ 審判は相互審とし、試合前に相談して決める。
- ・ 審判の服装はスポーツに適したものであればよい。
- ・ 審判へのお茶だしは不要。審判は各自水分補給をしてください。
- ・ 相手チーム（グラウンド主催チーム）への差し入れは不要です。
- ・ グラウンド整備は、試合前・試合終了後とも各チームで励行して下さい。
- ・ 試合日程は箕谷HP「第17回みのたに・ちびっ子リーグ」掲示板で確認してください。
試合結果報告は各試合の勝利チームが得点結果をちびっ子HP掲示板に書き込みしてください。
(引き分けの場合は1 塁側チーム)
⇒連絡掲示板アドレス <http://8326.teacup.com/chibi/bbs>
- ・ 当日の試合の有無の連絡はグラウンド提供チームが試合開始の 2 時間前までに当該チームに連絡してください。(事務局は天候判断を行いません)

<その他>

- ・ 試合等の連絡はHPの連絡掲示板で行いますので、PC/スマホ環境のある方を連絡担当者としてください。
- ・ スポーツ保険は各チームで責任を持って入っておいてください。
- ・ 試合中の怪我や移動中の事故については各チームにおいて責任を持って対処して下さい。
- ・ 部長、監督、連絡担当者の連絡先を参加チームに開示します。
- ・ 試合会場への車での移動・応援は最小台数でお願いします。遅れて見に来る人、祖父母の方の車の台数も制限台数に含みます。(但し、駐車場が確保できている会場で、グラウンド提供チームが許可した場合はこの限りではない)
- ・ ゴミ・空き缶は持ち帰ってください。
- ・ 喫煙可能場所に注意して下さい(特に小学校が会場の場合)
- ・ 持ち物には名前を書いてください。また、チーム所有物の忘れ物も多いです。チーム名を必ず書いてください。
- ・ 各チームの駐車票(チーム名と所有者を示したもの)を掲出してください。
- ・ 運営事務局は箕谷少年野球部内に置きます。

【ルール上の注意事項】

①5点ルールの運用について

5点ルールとは、攻撃側がイニング内で5点目を得点した時点で、3アウトでなくても攻守交代させるというものです。これは3年生以下の試合において、攻守時間をなるべく均等にさせ、攻撃・守備の機会をつくるという観点で導入しています。しかし、5点を得点してもプレーが継続している場合は、そのまま継続させ、一段落ついた時点で攻守交代させます。

(例)

4点を得点し、さらに満塁状態で、打球が本塁打または長打となった場合は、最大8点まで入ることになります。

※5点ルールを悪用した事例として過去に次のようなプレーがありました。

事例1)

6点リードで最終回を迎えたチームが、守備時に4点を取られてなお満塁状態であった。ここで2塁打以上に長打が出ると逆転となるため、打者を敬遠し、押し出し四球となり、5点目が入ったことで、試合終了となった。

事例2)

最終回に6点負けていたチームが4点を取ってなお攻撃中で走者3塁。ここで投球が暴投となり、3塁走者が本塁へ帰ろうとしたのをベンチから「走るな！」と走者を制止した。走者が生還すれば5点となり、試合終了となるため、塁上に走者をためるための発言。

事例3)

最終回で6点リードしているチームの守備時。4点目が取られてなおプレー継続中であったが、ボールデッドラインを超えそうになったボールを取ろうとした選手にベンチから「取るな！」と制止。結局ボールデッドとなり、2個ずつ進塁が与えられ5点目が入り、このチームは1点差で勝利した。

これらのプレーは普段指導していることと全く逆のことを、大人目線で「勝ちたい」ということが引き起こしたみっともない行為です。このようなことは本リーグの主旨にも反することですので、くれぐれもご注意ください。

②ヤジ・罵声は禁止

ごく稀にですが、指導者から「殺せ！刺せ！」「アホ、ボケ、カス、死ぬ」という言葉が発せられます。相手チームにも不快な思いをさせますので、プレーの指示、叱咤激励以外の大声は慎んでください。

あと、これはよくあるのですが、相手守備に対して「あるぞ、あるぞ」「やるぞ、やるぞ、ほら

やった」「ストライク入らへんで」という敵失を期待するコトバが見受けられます。これも相手の誹謗・中傷ですのでやめましょう。

③若干名の上級生出場可能の解釈

上級生(4年生)出場を可能にしているのは3年生だけでは9名に達しない場合の例外事情です。野球が上手な助っ人4年生ではありません。過去に、ピッチャー、キャッチャー、サード、ファーストが4年生という試合があったと報告を受けました。3年生を主役にしたリーグですので、このようなことはないようにお願いします。

これらの事象は指導者が「勝ちたい」というエゴから起きるものだと思います。本リーグはあくまでも練習試合リーグであり、「試合をする練習」のリーグとして位置付けています。指導者として冷静な対応をお願いします